

一般質問

※記事は質問者から提出された原稿を掲載しています。



無所属
前田憲一郎

問 二宮町の学校教育施策はいかに

答 子どもたちにより良い学校づくりをすすめていく

Q にのみや学園としての5校の関わり等、小中一貫教育の目的を達成し、効果を高めていくためにどのような施策を講じているのか。

A 町では、令和5年4月より、施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」が開校した。平成28年より小中一貫教育を行う過程の調査研究やカリキュラム作成を行ってきた。令和5年より「にのみや学園」プロジェクトとして、「全員参加型の授業づくり」「子どもたち同士の交流」「9年間を見通したカリキュラム研究」に取り組んでいる。小中学生の交流の回数を増やし充実を図っている。

Q 教職員の働き方改革に対し、どのような施策を講じているのか。

A 教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保

し、長時間勤務改善に向け、3つの視点の柱を定め取り組みを進めている。

Q 給食費は、ここ数年の教育費予算の内容を見ると、段階的ではなく、全面無償化にかかる予算を生み出すことが可能だと考えるがいかがか。

A 令和5年度においては、物価高騰による給食費の値上げをしたが、その分を町が負担し、段階的な無償化を継続できるよう予算編成し、補助をした。

いくつかの段階が考えられたが、不公平感がなく財政的な課題がクリアできることから、令和6年度から中学生の給食費を無償化にすることにした。



にのみや学園の一つ
「二宮中学校校舎」



無所属
古谷 健司

問 ①二宮西中の自転車通学のアンケートを ②各避難所のペット受入れ場所の公開

答 ①アンケート実施の要望を学校に伝える ②受入れ場所の設定及び公開は検討課題

Q 西中学校の徒歩通学は、一番遠い生徒で往復1時間40分と辛い。自転車通学は、40年近く禁止だ。二中同様認めては。無記名でアンケートを行っては。

A アンケート実施の要望を学校に伝える。

Q 山西小学校の登校時旗振りアンケート結果は。

A 246件の回答。朝の旗振り回数は現状維持の毎日111件、週3回40件、週1回26件、なし43件で旗振り場所を16→12か所に減らした。

【要望】「旗振り当番なし」が43件もあった。共働き家庭が増えており月1回、多い所は週1回の当番の負担も大きい。今後しっかり検討してほしい。

Q 狭い歩道に道路標識のポールが設置されている。通学に邪魔なので歩道の外に設置変更出来ないか。

A 富士見公園下の歩道のポールは撤去の見込み。

Q 来年の防災訓練は涼しい時期に変更できないか。

A 来年度は、涼しい時期での変更を検討する。

Q 各避難所に、ペットのスペースを設置できないか。

A どの避難所でもペットとの同行避難は認めておりそれぞれの避難所までの距離が同行避難の距離。

Q ペット避難所をもう少し良い環境にできないか。

A ペットに限らず町民の避難所環境整備をしたい。

Q 盲導犬、介助犬、聴導犬への受入れ対応準備は。

A 個別に対応する必要があると考えている。

【要望】環境省は人だけとペット同行者の動線を分けた校舎使用例を掲載している。検討してほしい。



古いブロック塀の撤去補助19件は、すべて通学路上

一般質問



日本共産党
渡辺 訓任

問 ①次期介護保険料は据置を
②高齢者のゴミ出し支援の具体化は

答 ①幅を縮小するが値上げはやむを得ず
②対象世帯への戸別収集を検討中

Q 現在の高齢者の施設介護の状況は。

A 特別養護老人ホームの入所待ちは53名、緊急性のある場合は対応できている。グループホームは3名。各施設は満床から4床程度の空がある状況。

Q 介護人材の確保については、どのように取り組むのか。参加の意欲がある方の活用は。通いの場で「男性のグループ」等地域を超えての取り組みは。

A 初任者研修や就労支援金の助成、小中学生の興味醸成等の据野の拡大、ボランティア、有資格者、事業所などをつなぐ通いの場の情報共有等進める。

Q 保険料の据置を求める。成年後見人利用や補聴器購入、带状疱疹ワクチンへの補助を要望する。

A 上げ幅は最小限に留めたいが、保険料の引き上げは避けられない状況だ。

高齢者の移動支援・ゴミ出し支援について

Q デマンド交通の検討は。バス停までの道など、まちづくりの中でベンチ設置は進められないか。

A デマンド交通には難しいことも多い。二宮らしい移動支援を検討していく。ベンチを置ける環境が整わない中での設置の取り組みは難しい。

Q 3月議会で検討するとされた高齢者のゴミ出し支援の検討状況は。紙おむつの資源化は。

A 自力でゴミ出しが困難な世帯を絞り、戸別収集の実施を検討中。紙おむつがゴミの中で占める割合が大きいことについては認識している。



高齢者の外出支援で大きな役割のベンチ設置を



無所属
岡田幸次郎

問 ICT活用による行政サービスDXの
取り組み状況と今後について

答 行政及び緊急情報のプッシュ型発信ツール
でLINE活用、導入開設は来年後半

Q 行政手続きのオンライン化の状況を問う。

A すでにオンライン化した手続きは子育て、介護、転出関係含め約30で、今後予定している火災予防関係等の手続きは、今年度内に公開できるよう進めている。

Q ワンストップサービスについて問う。

A マイナンバーカードの活用も含め現庁舎ではハード面の課題もあり新庁舎整備に向けて検討する。

Q 導入アプリはLINEを考えているということだが町民の利用率が高いSNSとコンテンツ、メニューを問う。

A アンケート調査結果より町民の82%が利用しているLINE活用が最も効果が高いと考えている。またメニューとして全体の情報発信のほか、子育てや防災などニーズに合わせた情報発信、また申請手続きや予約など双方向コミュニケーションの実現も考えている。

Q 導入時期と財源の確保を問う。

A 予算の承認を前提として、開設までの準備期間も必要なので、次年度後半に開設することを目標としている。また、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し事業費の1/2の補助を受けて導入することを考えている。

【要望】 ここにきて、町のデジタル化が目に見えて動き出したかと思う。今後、更にスピード感を持って町民サービスDXに取り組んでほしい。特に、町民の声に応えるべく、LINE機能を使った情報サービスツールの導入を早急をお願いする。



「持ち運べる役所」！スマホのメニューをクリック



無所属
大沼 英樹

問

①町民主役の安心は担保されているのか
②行政事務の状況や職員対応は適切か

答

①全て保全出来ないが適時示している
②適正な事務処理に向け職務執行を図る

Q 今年も総額 2 億6,700万円の剰余金が出ている。駅前には中央線が消えて見えない。安全と言えるか。

A 30キロ制限なので注意喚起し安全に努めている。

Q 整備不足はツケを先送りする結果になる。安全、長寿命化、未来の財政に補修計画が必要ではないか。

A 町道の全路線に対する補修計画は難しい。

Q 田代公園廃止には反対運動が起こったが新庁舎計画の果樹公園廃止について確認は取ったか。

A 確認してないが、今後必要になってくると思う。

Q 村田町長は町民が主役と称しているが、調査もせず勝手に決定するのはいかがか。

A 広報紙で示し、移動町長室で説明している。

【要望】安全・安心は必須。力不足と言わざるを得ない。3期目で自信の答弁は実績で見せていただきたい。

Q 神奈川新聞電子版に村田町政発足の2014年から14件の良くないニュースがある、異常ではないか。

A 内部統制制度に向け10月からコンプライアンス推進要綱を定め試行運用をしている。

Q 内部統制はモニタリングが非常に重要だが監査委員と町長・職員間で馴れ合いは存在していないか。

A ないと認識している。

Q 過去に町関係書類の不適切処理はなかったか。

A 具体的な内容が分からないので把握していない。

【要望】二宮町職員は保身に走らず必要な意見をして信頼される行政執行をお願いしたい。



果樹公園の廃止に反対運動がある、町民の声を無視するな



無所属
浜井 直彦

問

温水プールが廃止された今こそ、袖が浦プール・公園を整備し利活用すべき

答

町民が何を望んでいるのか
的確にしっかりと聞き、判断していく

Q 温水プール廃止決定後、町では山西プール1か所になったが、対象として一番利用されるであろう子どもの人数の少ない、子どもだけで行きにくい場所にあり、利用者目線の使いやすいプールなのか。

A これまでのプール計画の通り、方針としてこれからの人口減少社会を踏まえ、山西プールを町内唯一のプールとして長寿命化し、しっかり維持していく。

Q 二宮は学校プールが無いために、地域プールを夏に教育目的で利用していたが、現行の教育内容と今後の運用予定はどのように考えているのか。

A 泳力の上達を目的としてではなく、事故などが起きた時の命を守る着衣泳等を体験させて学ばせる目的である。次年度は3回実施予定で、昨今の残暑を考慮して9月まで実施出来るような日程も検討している。

Q 袖が浦プール近隣では、子育て世代の移住世帯が増えており、プール再開を心待ちにしている子どもや親の声を多く聞いているが、どう受け止めるか。

A 現在、袖が浦公園を中心とした近隣に無作為に5名にアンケートを送付し回答を載している。詳細はまだ集計中で報告できないが、5割以上の回答があり非常に関心が高いことはうかがえる。検討を進め地域の声を丁寧に聞きながら方向性をまとめていく。

【要望】産み育てやすい町二宮として小児医療費や給食費と同じく、特色ある地域の子育て環境整備への、積極的な投資・推進をし、魅力ある町に



子どもたちの元気な声を待ち続ける袖が浦プール

一般質問



公明党
小林 幸子

問

带状疱疹ワクチン費用の助成について、町の考えはどうか

答

早急に定期接種化を国へ要望しているが、周りの状況を見ながら、検討はしていきたい

Q 産後うつ予防対策と状況はいかがか。

A 子育て世代包括支援センターにはぐで、出産前から子育て期まで切れ目のない支援を行っている。助産師や保健師が、赤ちゃん訪問を実施。今年度から開始した産後ケア事業は、母乳マッサージの利用者も多く満足度も高い。

Q 産後うつ予防にトータルケアができる産後ドゥーラがあるが、どの様と思うか。

A あまり知られていない。町では緊急時子育て家庭安心サポートヘルパーを開始したが、今のところ、使っている実績はない状況。

Q 带状疱疹ワクチンとその費用の助成はどうか。

A 带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気。子どもの頃に水ぼうそうにかかる

ウイルスが体の中で長期間潜伏感染し、免疫が低下した際などに带状疱疹として発症。50歳以上の方にはワクチン接種で発症・重症化予防が期待できる。定期接種化を国へ要望しているが、助成については、周りの状況を見ながら、検討はしていきたい。

Q 若年層の献血推進と取り組みは、いかがか。

A 厚生労働省から送付されるポスターの掲示を中学校で行っている。今年度、小学4年生を対象に赤十字で作成されるパンフレットを配布するので、家族で話し合うきっかけになれば良いと思う。

【要望】带状疱疹ワクチン費用助成の早期実現



厚生労働省から配布されている高校生用パンフレット



無所属
小笠原陶子

問

健康的な食生活を推進するためヘルスマイト二宮などの活動を聞く

答

通いの場を通じて低栄養防止の講演 今後は子ども食堂の利用者に周知も

Q 町の高齢化は著しい。人口は減っても世帯数だけは増えて独居の方ばかり。先日80代の男性からカレーライスを作れるようになりたいといわれた。町はコロナ禍以降、男性の料理教室が行われない。歴史ある食生活推進団体のヘルスマイト二宮の活動はどうか。今年度は養成講座を実施しなかったのはなぜか。

A 高齢者の食生活について低栄養防止の取り組みを、地域の通いの場に、保健師と管理栄養士が運動、食事、支え合いの3つを併せて紹介している。

ヘルスマイト二宮の方からは節約料理術を伝えている。今年のヘルスマイト養成講座は応募1名だったため中止し、次年度と一緒に実施する。活動場所の保健センター調理室はコロナワクチン接種事務所となったため使用できなかったが来年6月から使用できる。

Q 円安やウクライナ問題の影響で全てが値上がりし、特に食料品の物価高騰に年金生活者や母子家庭は苦しんでいる。節約しながらも栄養が取れる食材の購入と作り方を町民と進めていき、健康で安心な暮らしを守っていくことが必要だが。

A 物価高騰などにより家計が厳しい家庭の食生活について現在は特に対策を行っていないが今後、子ども食堂の利用者に栄養対策などの周知を考える。

Q 実態に合わない食育推進計画の改定の進捗は

A 令和5年度から令和6年度にかけて、次期計画を策定する。自殺対策計画も内包する予定。



12月14日百合が丘地区社協シニア男性料理講座を開催



無所属
松崎 健

問 ゼロカーボンシティ宣言はポーズで ない旨の町長答弁がある

答 ライフサイクルコストを全部考慮する 必要がある

Q 2060年に人口1万7千人以上を目指すことで町は合併することなく持続可能と考えるか、以前の答弁がわかり難いので再度問う。

A 二宮町の存続という意味で、持続可能と考える。

Q 県策定の合併推進構想は失効していると誤解させる答弁があったが本構想は失効していない。

A 指摘の通りなのでこの場で訂正する。

Q 予算審査の際に本構想に関する質問をしたが執行者はこれを把握していなかった。文書管理上問題ではないか。しかも事前に質問する旨伝えている。

A 20年近く前の文書まで把握するのは難しい。連絡は届いていない。

Q 同構想が策定された平成19年に町長は県議をしていた。町に出す側なので十分把握すべきだった。

次に令和4年2月策定の再編計画をベースに基本設計を委託しているが、その後建設資材高騰等により予算は3割上昇したとの答弁があった。高騰分を踏まえ再編計画を再作成した上で委託すべきでは。計画が大きく変われば議決は無効ではないか。

A 基本設計について議決を頂いてないと認識している。

Q ゼロカーボンシティ宣言はポーズではない旨の町長答弁があった。国の方針だから、権威が言っているからではなく科学的に説明できる必要がある。

A ライフサイクルコストも考慮の上で考えなければならない。国も一丸となってやっている。



資材高騰等により計画の大幅な変更は避けられない



無所属
野地 洋正

問 将来の財政見通しは… 町にお金はあるか…

答 数値的には問題ないが、今後も慎重に 見極めていく

Q 令和4年度決算から見た現状

A 財政状況を数値で示す健全化判断比率はすべてにおいて基準値内であり、全国市町村の平均値よりも高く健全であるといえる。

Q ラディアン周辺整備、駅前複合施設等の財源は

A 計画的に積み立ててきた基金(貯金)、現在および将来の住民が負担均衡を図る役割もある地方債(借金)は、70%国から援助が受けられる緊急防災減災事業債など、交付税措置のあるものを活用する。

Q 給食費・医療費の無償化、町債増発等による経常収支の悪化

A 積み立ててきた年9千万円の新庁舎整備基金や廃止した温水プール事業費を、借金返済、無償化事業に充てる予定。6年度予算や5年度決算を慎重に

見極めて事業を進めていく。

Q それらを踏まえた将来の見通し

A 各建設事業費を大まかに見積り毎年決算時に報告しているが、令和6年度に役場新庁舎等基本設計が完了した際には詳細をきちんと示す。

Q 町にお金はあるか

A 1を基準とした財政力指数からみると0.66であり、全国平均の0.50を上回っている。交付税制度もあり持続は可能。

【要望】不安が払しょくできるように、各事業費をきちんと加えた今後の財政見通しを、人口動態も含めて示すこと。

令和4年度「二宮町」健全化判断比率				
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
判断比率	0	0	4.8	4.9
早期健全化基準	14.38	19.38	25.00	350.00
財政再生基準	20.00	30.00	35.00	

財政健全化比率は基準値内
で全国平均以上